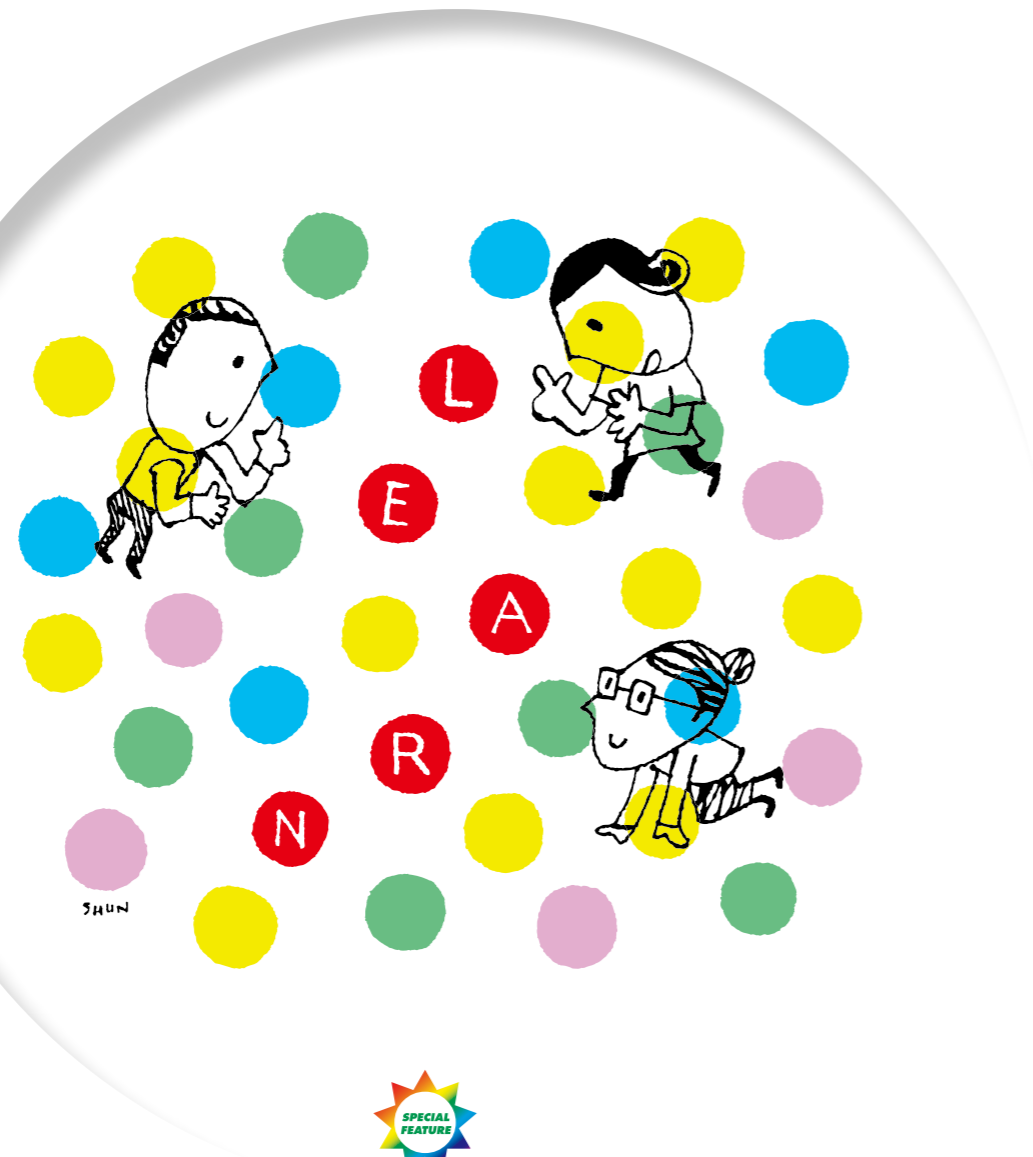


ケアプラン点検



学んで
楽しい



ケアプラン点検が増えている! インセンティブ交付金で注目

「ケアプラン点検員（非常勤）を募集します」
「介護給付適正化専門員（嘱託職員）募集のお知らせ」

インターネットで「ケアプラン点検 募集」で検索すると、保険者のそんな募集ページがヒットする。更新日を見ると、ここ最近のものも少なくない。

2006年度より、介護給付費適正化の一環としてスタートしたケアプラン点検。事業所への訪問調査等により、保険者がケアマネジャーが作成したケアプランの内容を検証・確認するものだ。

全国の平均実施率を見ると、2012年度は63%、2013年度は60.8%、2014年度は62.4%と、長らく6割程度で低迷

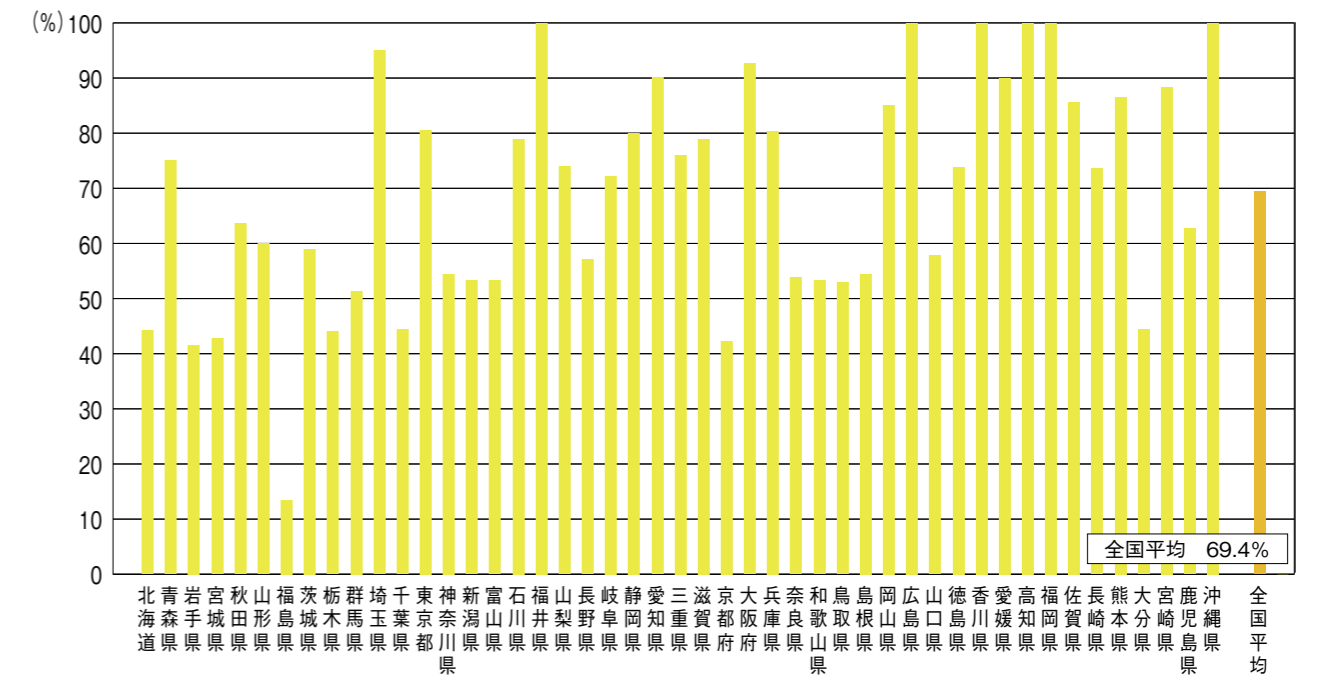
していた。それが、2016年度は69.4%（図1）、2017年度は7割越えと、右肩上がり伸びてきている*。一体何が起きているのか。

交付金から見たケアプラン点検

「うちの県でも2016年度と2017年度を比較すると、実施する保険者は約3割増えた。背景には、保険者機能強化推進交付金があるのではないか」。ある県の担当者はそう指摘する。

通称「インセンティブ交付金」。自立支援や重度化防止につながる取り組みを促す財政的インセンティブとして、

図1 ケアプラン点検を実施している保険者の割合（2016年度実施分）



出典：編集部調べ（3月15日現在）

* 2012～2014年度は厚生労働省調べ、2016～2017年度は編集部調べ。2017年度分は数字の聞き取りができた28都道府県の平均値（75%）。